

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4490600022		
法人名	有限会社ふくすけ		
事業所名	グループホームふくすけ		
所在地	大分県臼杵市大字戸室字長谷1135番地の1		
自己評価作成日	令和3年11月19日	評価結果市町村受理日	令和4年2月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	令和3年12月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年度は『口腔内を清潔に、仲間を思いやり、新型コロナに向かい合おう』をスローガンに掲げ、チームワークで口腔ケアを確実にを行い、達成率を毎月の会議にて評価をしています。新型コロナの感染拡大で、地域とのふれあいは少なくなりましたが、外出して散歩・ドライブによく出かけています。毎月のケア会議の中でも引き続き、身体拘束、虐待について意見を出し合っています。感染予防に対しても換気、消毒、職員の体温管理等をしっかりと行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・外出支援に力を入れている。コロナ禍で、利用者が閉塞感を感じないよう、街中や馴染みの場所を車窓から楽しむドライブなど、感染症対策に配慮した支援を行っている。
- ・三食とも手作りの食事を提供している。季節の食材や骨抜き処理をした魚料理を提供するなど、食事を楽しむ支援をしている。
- ・臼杵市の地域医療、介護、保健情報の連携システム「うすき石仏ねっと」に参加している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼後、出勤職員で理念を復唱して1年毎のスローガンを設け具体的に管理者と職員が話し合い実践に結びつける様に取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義をふまえた理念をつくっている。さらに理念を基に、年間のスローガンを作成し、達成状況を会議で振り返るなど、全職員で理念の共有と実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ以前は、オレンジカフェや地域行事に参加していたが、直接的な交流が出来ずインターネットのホームページブログなどで地域に発信している。	自治会に加入しており、管理者が民生委員を引き受けるなど、地域とのつながりを大切にしている。感染症対策に配慮しながら、散歩中に近所の人とあいさつを交わすなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	全職員が施設内研修・会議などでレベルアップに努めていく中で地域の会議に参加して実践から得た事を発信していく。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様のケア・家族の対応・事故報告・行事の取り組みの報告相談を行っている。意見をいただき、毎回、虐待・身体拘束についても積極的に話し合っている。	コロナ禍のため、運営推進会議を文書により定期的に関催している。服薬管理や面会について、アドバイスや意見をもらい、出された意見をサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を始め、行事に参加頂いたり、不明なことを電話・メールで連携をとっている。臼杵市が中心で行っている石仏ネットに加入し取り組んでいる。	市担当者とは事業所の取り組みを伝えながら、オンライン会議や電話、メールで情報交換している。臼杵市の医療・介護・保健情報連携システム「うすき石仏ねっと」に加入している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルの禁止事項の確認をしていてケア会議の中に議題をあげている。年2回のアンケートを実施している。	定期的に研修を行っている。月1回、会議で話し合いながら、全職員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。年2回、アンケートを実施し、職員のストレス軽減等に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止を図るべく毎回のケア会議の中で議題をあげ、話し合っている。自己評価チェック表を作成して、管理部への提出としている。必要であれば、個人面談をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	コロナ禍もあり、オンライン等での研修を予定している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、重要事項説明書・契約書・個人情報取扱同意書に添って丁寧に説明している。事業所もケアに関する考え方や取り組み、運営推進会議の参加もお願いしている。改定時は案内文書送付を行い、不明な点があれば個別対応を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には毎月手紙を送付しています。ユニットの玄関には意見箱も設置している。施設アンケートは、コロナが落ち着けばご家族様に送付予定。	利用者の様子を詳しく伝えるために、手紙に写真を添えて、家族に送付している。電話や面会時に意見を聞くことが多く、出された意見は運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回定例会議を設け全職員からの意見聴取を行い運営改善に努めている。	月1回の職員会議や日々のケアの中で意見を聞いている。職員の腰痛対策のため、入浴リフトを導入するなど、意見を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は、現場で起きている状況や変化を把握し職員の努力や成果について評価に努めている。また、健康診断の実施(夜勤従事者は年2回)や職員の心身の健康状態に配慮している。積極的に雇用環境改善に役立つ外部研修への参加をし、職場環境改善に反映させている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、新任職員には施設内研修を行っている。また、外部研修の情報を収集し職員が受講できるように計画を立てている。オンライン研修も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、関係施設と合同で会議を行い交流の機会を設けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前にご本人様と面会し出来る限り情報収集を行う。入居後は出来る限りの関わりと信頼を得て安定した生活に向けて努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の思いや、これまでの生活について話を聞き、これからの対応について話しを進めながら、ご本人様と共に関係性を築ける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設入所前より、ご本人や、ご家族と面会し状態把握に努めている。必要があれば、他のサービスに繋げるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様とコミュニケーションを持ち、不安・喜び・状態を職員全体で把握し利用者様の思いに寄り添い、安心して生活が送れるように共に支え合う関係性を築くよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の日々の出来事や状況を毎月お手紙や施設新聞で報告している。来訪時や、電話にて状況説明を行い、関係性を築くようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様が暮らしていた地域にドライブに出掛けたり、知人や友人が、面会に来られた際には、窓越し面会で交流が図れるよう、又電話で話が出来よう支援している。	本人のこれまでの暮らしの把握に努めながら、馴染みの場所へのドライブや窓越しの面会など、馴染みの関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の話を傾聴し、楽しく過ごせるような雰囲気作りに努めている。利用者様同士が良い関係が続くように職員が情報を共有し利用者様同士の関係性を築きやすくするよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設や病院入院等で、契約が終了後も安定した生活が送れるように情報提供・支援を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人に面接・ご家族様からの聞き取りを実施し、希望や生活の意向確認を行っている。意思確認が難しい方には周囲の情報をとくに検討している。	日々の関わりの中で、本人の言葉から思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、家族と話し合いながら、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人へのアセスメントや、ご家族様・事業所などから情報を収集しこれまでの生活状況の把握に努めている。新規の方は、ご自宅や病院等に訪問させていただく事もある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の1日の生活リズムを理解し、ご本人のペースで生活が送れるように支援している。できる事有する能力の把握に努め自立支援を図っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入所時・様子変化時・短期目標終了時・更新時等ケア会議で職員ら検討。入院者が退院の際には、ご家族様や、リハ・看護師・医師。相談員との意見交換をもち、現状に適した介護計画を作成。	日々のケアの中での気づきを「ひきつぎノート」に記録し、全職員で共有している。月1回のケア会議で話し合いながら、定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の暮らしの様子や、身体変化、介護の様子、エピソード等を支援経過に記入。引継ぎノートで職員との情報共有を図りケアの実践や、計画の見直しに役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍で外部との関わり減を余儀なくされている現状がある。オンライン面会や、窓越し面会、電話等の対応を実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議は、コロナ禍の為規模を縮小して行い、情報交換を行っている。職員の付き添いのもと散歩やドライブを行い、日常生活でも洗濯物たたみ等できることはお手伝い頂き、能力低下防止に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後も居宅時と同じかかりつけ医に受診出来るよう支援している。通院には必ず職員が付き添い、施設での様子を報告・相談している。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。訪問歯科や夜間対応の医療機関もある。「うすき石仏ねっと」に加入して医療介護の連携を図り、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、施設看護師に情報を提供。受診時に看護師がかかりつけ医に、報告・相談を行い適切な検査・治療を受けられている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入院時には、必ず職員が付き添い情報提供を行っている。リハビリ開始時等も連絡をとり退院後のADLのゴール等具体的な目標を設定している。又、必要時には退院前に施設職員と病院職員で拡大カンファレンスを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に書面で確認。その後も利用者様の体調の変化に合わせて家族との話し合いの場を設けている。また、かかりつけ医とも連携して夜間急変時の対応等を確認している。	重度化や終末期に向けた方針を、入居時から状況の変化に応じて話し合いを重ねている。本人や家族の希望に沿って、看取りの経験もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを設置し職員が扱えるよう救急救命法のオンライン講義を実施。マニュアルや利用者様の体調変化や受診状況を記録したファイルを作成し急変時対応に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の協力のもと避難訓練を行っていたが、コロナ禍の為に行っていない。消防設備の点検や災害に備えてた備品の準備を行っている。	臼杵市の福祉避難所の指定を受けている。前年度の目標達成計画に掲げていた感染症対策などを含めた避難計画の見直しは、話し合いを進めている途中である。	定期的な避難訓練を、利用者と職員と一緒に繰り返し行っていくことが望まれる。避難計画の見直しを引き続き進めることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員1人1人が個人情報の取り扱いについては慎重に行っている。利用者様には笑顔で声掛けが出来るよう心かけている。	職員は研修を重ね、人格を尊重する大切さを学んでいる。ケア会議の中で振り返りながら、誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様1人1人に合わせた声掛けを行い困難な方には表情から読み取る等心かけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人その時の体調や気持ちを大切に支援を心かけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容師に施設に来てもらい、散髪を行っている。入浴時に、白髪を染めて欲しい方は対応する。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホワイトボードに1日の献立メニューを書き利用者様に楽しんで頂く。誕生日メニューには利用者様の好物を提供している。	三食とも手作りの食事を提供している。利用者から料理の工夫を教わったり、一緒に下ごしらえをする等、本人の力を活かしながら、食事を楽しむ支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、チェック表に摂取量を記録しパソコンに正式に記録している。水分量が少ない方には水分ゼリーを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1人1人に応じた介助を行い、清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人1人にあった習慣や記録表をみて声掛けを行い、排泄時間を見ている。新規入居者の方もアセスメントシートをみて排泄支援を行う。	チェック表を用いて、排泄パターンを把握している。羞恥心に配慮した声かけや誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事面で、食物繊維の多い食材を使用したり、水分摂取の少ない方には、声掛けしただけ多く摂して頂く。排便コントロールができない方は、看護師に報告し薬で調整してもらう。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回は、入浴して頂けるようにしている。	本人の希望やタイミングに合わせて、週2日以上の入浴となっている。入浴昇降リフトを導入し、全員が湯船につかれる支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は離床して頂き、夜間眠れるよう心かけている。利用者様の体調面によって日中休息できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬マニュアルや説明書をみて情報共有をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様とコミュニケーションを取りながらその方ができる役割を活かし、野菜の皮むきや洗濯物たたみをして頂いている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り外出や、散歩ができる支援をしている。面会も窓越し面会・オンライン面会等を行っている。	庭で桜や紅葉を眺めたり、近所の散歩等、その日の希望に沿って、日常的に外出している。感染症対策を考慮しながら、石仏公園やフェリー乗り場など、本人の馴染みの場所を車窓から楽しむ支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と相談して少額のお金を持たれている利用者様もいらっしゃる。買い物の際には利用者様に支払いをしていただくよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じてご家族様や知人に電話が出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りつけをしたり、水槽を設置するなど利用者様に楽しんでいただける様、明るい空間作りを心かけている。	季節感のある飾りや、利用者の作品を飾っている。ウッドデッキから庭を眺めたり、リビングの畳コーナーで洗濯物をたたむなど、生活感のある暮らしを思い思いの場所で過ごすことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関・リビングにソファを配置。また、畳の部屋を利用して利用者様が気軽に会話を楽しめるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様本人の物の持込みやご家族様等の写真などを飾っていただいている。居心地のよい居室作りに努めている。	入居前に、可能であれば自宅を訪問している。家族と相談しながら、テレビや写真、本など、本人の好みのものを活かしながら、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の居室にネームプレートを設置。トイレなどもはっきりわかるよう「便所」と表示するなど、利用者様の気づきに心かけた環境作りに努めている。		